



自衛隊栃木地方協力本部

高等工科学校生徒が事務所を来訪・帰省と近況報告 ～受験希望者にリアルな説明～ 僕たちの後輩に・・・

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）に、12月28日（日）、高等工科学校3年・渡引生徒（那須烏山市出身）、同校2年・小林生徒（さくら市出身）の2名が帰省と近況報告を兼ねて訪れた。今回の事務所訪問は、先輩の渡引生徒による提案で実現した。渡引生徒は、「3年間は、いろいろありましたが、家族や平井さん（担当広報官）のサポートがあり、なんとか卒業を迎えられそうです」と話し、小林生徒は、「後輩もできたので、先輩として手本になれるように、これからも勉強に部活に頑張ります」と熱く話してくれた。

当日は、2人を担当した広報官が、高等工科学校受験者の説明会（面接指導等）を行っており、急遽、受験予定の学生と保護者に「高等工科学校の今の生活」について様々な質問に答えられた。また、受験当時、渡引生徒からアドバイスをもらった経験がある小林生徒は、受験予定者に「合格して、後輩になつてくれたら、すごくうれしいです。頑張ってください」と熱いエールを送ってくれた。

大田原地域事務所は「今後も入隊者に対しアフターフォローを継続していくとともに、受験希望者や保護者にリアルな言葉を発信する広報で活動していく」としている。

「にしなすの初市」 大田原地域事務所・広報展はじめ！

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、1月11日（日）に、那須塩原市の西那須野駅前桜通りで行われた西那須野商工会主催の「にしなすの初市」（たるまや縁起物を扱うお店が並びイベント）で第12高射特科隊（相馬原）の支援を受け、広報展を行った。

広報展では、1/2トトラック及び93式近距離地对空誘導弾・発射装置の展示、自衛隊説明及び制服試着コーナーを設け、多くの来場者でにぎわった。また、宇都宮駐屯地の売店が出張出し、各種自衛隊グッズが人気を博していたほか、江村募集相談員（那須塩原市）も現地へ駆けつけ、制服試着等に協力を頂いた。

当日は、朝から寒波により寒い1日の広報展になったが、来場者からは、自衛隊の活動に対し、「有事、災害の時、自衛隊があるから守られています。感謝です」などの励ましの言葉などを頂いた。また、広報官が子供と一緒に写真撮影をお願いされるなど、新年のひとつが盛況のうちに終了した。

当日は、朝から寒波により寒い1日の広報展になったが、来場者からは、自衛隊の活動に対し、「有事、災害の時、自衛隊があるから守られています。感謝です」などの励ましの言葉などを頂いた。また、広報官が子供と一緒に写真撮影をお願いされるなど、新年のひとつが盛況のうちに終了した。

大田原地域事務所は「新年最初の広報は、地域の方々の信頼と理解を獲得することができたと確信し、引き続き地域に密着した活動を行っていく」としている。

休暇を利用して学校訪問 ～高等工科学校生徒が母校を訪問～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、1月13日（火）、高等工科学校2年の小林生徒及び櫻井生徒の母校であるさくら市立氏家中学校の訪問を支援した。

当日、さくら市立氏家中学校の横須賀校長先生を訪問すると、「2人の訪問は、ゴールデンウィーク、夏休みに続き今年度3回目であり、訪問する度に凛々しく成長していく姿に感銘を受けるとともに、頑張っている姿に安堵している」と話してくれた。また、今年度定年を迎える横須賀校長は、「来年度は次の校長先生に申し送っておくから引き続き訪問して、学校に顔を出してください。」

これからも氏家中卒業生が自衛隊（高等工科学校）で頑張っている姿をPRしてください」と2人の生徒に引き続きの来訪をお願いしていたのが印象的であった。

懇談後は、高等工科学校に興味を持つ学生を校長室に呼んでくれて、簡単な説明会も行われた。その後2人は、保健室に寄り中学時代にお世話になった保健室の先生に自衛隊力レンダーをプレゼントし、「保健室に張ってください」と依頼した。

大田原地域事務所は、「いつも募集広報に協力してくれる2人に感謝するとともに、今後も入隊者の生の声を発信していくことで、学校においての広報活動を実施していく」としている。